

令和7年10月3日

隠岐の島町長 池田 高世偉 様

隠岐の島町上下水道事業経営審議会

会長 河北 尚夫



答 申 書

令和7年7月15日付け隠上下第45号で諮問のありました上下水道事業の重要な施策方針については、下記のとおり意見を取りまとめましたので答申します。

1. 「隠岐の島町水道事業ビジョン」について

上水道事業は老朽化施設の更新、耐震化の必要性が増していると共に、人口減少による料金収入の減、職員の不足など多くの課題を抱えています。

このようなことから、「安心」「強靱」「持続」の考えの基に水道事業を運営する方針、及び将来推計からの料金値上げの必要性について書かれた「隠岐の島町水道事業ビジョン」に沿って水道事業の運営をすることについて、妥当であると判断します。なお、実施にあたっては、下記事項に留意してください。

- (1) 水道水を商品化するなど、水道施設の有効活用、収益源の確保により、経営の安定化を図ることを検討すること。
- (2) 補助金等の活用をしながら、優先順位をつけて計画的に施設の統廃合や耐震化を早急に進めること。
- (3) 料金の見直しの検討については、早期に着手すること。また検討にあたっては、世代間の公平性を考慮した改定時期及び改定内容とすること。
- (4) 水道料金の値上げは、水の安定供給のためにやむを得ないが、町民の生活に直結することを認識し、慎重に料金改定を行うこと。また、町民に

対して丁寧に、かつ十分な周知期間をとり説明すること。

- (5) 「水道ビジョン」の公表にあたっては、広報誌等を活用し、広く町民に理解が得られるよう、分かりやすく周知すること。

2. 下水道事業の官民連携について

下水道事業においては、施設の老朽化、担い手の減少、伸び悩む料金収入など「モノ」「ヒト」「カネ」の問題があり、そのような問題を解決する一つの手法として民間の力を活用したウォーターPPPが効果的であることは理解しました。

また、島前を含めた隠岐全域での事業展開も視野に入れており、より一層の効果が期待できると認識しましたので、下水道事業について官民連携を行う事業方針について妥当であると判断します。なお、実施にあたっては、下記事項に留意してください。

- (1) コスト削減による利益の配分など、事業のスキームを十分に検討し、業者選定についても慎重に行うこと。
- (2) 事業の持続可能性を鑑み、将来的にはレベル4（コンセッション方式）に移行することも視野に入れ検討すること。

3. 市町村設置型浄化槽事業の改正について

市町村設置型浄化槽事業が抱える課題及び今後の事業見直しを行う方針について理解しました。今後、広い視点を持ち、十分な検討を重ね、適切な制度設計を行うことが必要であると判断します。

4 参考資料

(1) 委員名簿

所属	氏名	備考
総合建設コンサルタント	河北 尚夫	会長
隠岐の島町社会福祉協議会	村上 勝	副会長
中国税理士会松江支部	森 裕子	委員
山陰合同銀行西郷支店	三好 英世	委員
隠岐の島町商工会	佐々木 千明	委員
隠岐の島町婦人会	藤野 富子	委員
隠岐の島町財政課	長田 寿幸	委員

(2) 隠岐の島町上下水道事業経営審議会の開催

○第1回

日時 令和7年8月21日(木) 10時00分から12時00分

場所 隠岐の島町役場3階 303会議室

○第2回

日時 令和7年9月2日(火) 13時30分から15時00分

場所 隠岐の島町役場2階 201会議室

○第3回

日時 令和7年9月19日(金) 9時30分から10時20分

場所 隠岐の島町役場2階 201会議室